

# 〈セミナーのご案内〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご回覧につき、ご高配をお願いいたします。

回	覧				
---	---	--	--	--	--

高等教育活性化シリーズ 141(通算 415 回)

2009 年 4 月 9 日 (木)

どうする！ 経済危機の深化の中で

## 学費負担の軽減と奨学金拡充策

～ 高等教育費負担の今後／国内生・留学生への経済支援の実際～

- ※ 政策シナリオ～公・私、機関・個人、保護者・本人／学費減免、給付・貸与／利子補給／減税
- ※ 学費負担の動向／生活費の構造変化／大学ができること／学費据え置き・引下げ／寄附・基金
- ※ “進学格差”の現状と要因／教育費負担の国際比較／授業料と奨学金の推移／教育費負担の今後
- ※ [学生支援機構] 21 年度予算における奨学金の充実・改善／返還促進への取組と学校との連携
- ※ [ケース・スタディ] 学納金の説明責任／大学独自の奨学金と財源の確保策／給付型の拡大

### ● 講師陣 ●

圓入 由美 氏 / 文部科学省高等教育局学生支援課 課長補佐  
 田中 敬文 氏 / 東京学芸大学 准教授, 日本 NPO 学会 副会長・日本公共政策学会 理事  
 小林 雅之 氏 / 東京大学 大学総合教育研究センター 教授  
 富田 靖博 氏 / (独) 日本学生支援機構 奨学事業部長  
 永和田隆一 氏 / 神奈川大学 財務部長

2009 年 4 月 9 日 (木) 剛堂会館ビル 会議室 (東京・麹町)

地域科学研究会  
 高等教育情報センター

日時：2009 年 4 月 9 日 (木) 9:40～16:50  
 会場：剛堂会館ビル(明治薬科大学)会議室(東京・麹町)  
 千代田区紀尾井町 3-27 03-3234-7362

アクセス：東京メトロ有楽町線「麹町駅」1 番出口より  
 徒歩 4 分, JR 中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口  
 から徒歩 10 分  
 ※会場の地図及び受講証を送付しますので  
 必ずご確認ください。

参加費：A. ご一名(資料代込)  
 40,000 円(消費税込)  
 B. メディア参加(資料・カセットテープ送付)  
 41,000 円(送料, 消費税込)

※参加費の払い戻しは致しませんので、申し込まれた方の都合が悪いときには代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ  
 FAX または E-mail にてご送付ください。  
 支払方法：銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。  
 みずほ銀行麹町支店 普通 1159880  
 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767  
 三井住友銀行麹町支店 普通 7411658  
 郵便振替 00110-8-81660  
 口座名<(株)地域科学研究会>  
 ※ご請求なき場合は振込受領書を領収書に  
 代えさせていただきます。  
 ※新年度(4 月以降)の振込でもかまいません。

申込先：地域科学研究会・高等教育情報センター  
 東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ 第 2-106  
 Tel: 03 (3234) 1231 / Fax: 03 (3234) 4993  
 E-mail : kkj@chiikikagaku-k.co.jp  
 URL : http://www.chiikikagaku-k.co.jp/

☆ FD・SD 及び BD 研修の本格化に伴い、2007 年から受講・修了証明書を発行しております。

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

### 研修会参加申込書

高等教育活性化シリーズ 141

2009 年 月 日

学費負担の軽減と奨学金拡充策

当日参加

メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先 \_\_\_\_\_

所在地 〒 \_\_\_\_\_

TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

連絡部課・担当者 \_\_\_\_\_

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法 (郵便振替・当日払い・銀行振込) 請求書 (要 不要)

※この個人情報、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
9:40 } 10:40	<p>□ 高等教育費負担と学費・奨学金施策の新展開                      ～国内生・留学生の学生・院生への拡充策～</p> <p style="text-align: right;">文部科学省 圓入 由美</p>
10:50 } 12:00	<p>□ 学費負担の動向と学生（家計）支援                      ～家計の学費負担の分析／大学個々でできること～</p> <p style="text-align: right;">東京学芸大学 田中 敬文</p> <p>1. 家計所得の推移と学費負担                      (1) 低迷する家計所得：10年前にも及ばない                      (2) 国公立大学の学費の推移 (3) 家計負担の高止まり：もはや限界だ！</p> <p>2. 学生生活費の構造変化～『学生生活調査報告』より                      (1) 〈収入〉仕送り・アルバイト収入減少を奨学金で賄う                      (2) 〈支出〉物価上昇にもかかわらず食費など生活費を切詰める</p> <p>3. 学生（家計）支援に向けての大学の取り組み                      (1) 学費据置き・引下げの効果？                      (2) 寄附金獲得・基金創設による奨学金拡充 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>
13:00 } 14:30	<p>□ “進学格差”の現状と教育費負担の軽減のあり方                      ～高校生・保護者調査，海外調査データをふまえて～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 小林 雅之</p> <p>1. 教育費負担の考え方                      (1) 教育費と学費 (2) 教育費負担の国際比較                      (3) 主要国の授業料と奨学金の現状</p> <p>2. 現代日本の教育費負担の状況                      (1) 授業料と奨学金の推移 (2) 教育費負担に対する親の意識                      (3) 「無理する」家計</p> <p>3. 進学格差の現状                      (1) 大学進学率の所得階層間格差は減少したか                      (2) 「高校生調査」からみる進学格差 (3) 高等教育機会と奨学金の効果</p> <p>4. 教育費負担のあり方                      (1) 深刻化する教育費負担 (2) 授業料と奨学金のあり方                      (3) 包括的高等教育ファンディングシステムの必要性 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>
14:40 } 15:40	<p>□ [公的奨学金] 日本学生支援機構奨学金の充実と返還促進の取組</p> <p style="text-align: right;">(独) 日本学生支援機構 富田 靖博</p> <p>1. 平成21年度予算における奨学金の充実                      (1) 機構の概要について (2) 平成21年度の事業規模                      (3) 貸与月額等の改善</p> <p>2. 奨学金の返還状況と社会的要請                      (1) 返還状況の推移等 (2) 機構に対する社会的要請</p> <p>3. 返還促進に向けた新たな取組と学校との連携強化                      (1) 返還促進有識者会議報告 (2) 具体の取組について <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span>                      (3) 学校との連携強化</p>
15:50 } 16:50	<p>□ [ケース・スタディ] 学納金の説明責任と奨学金拡充への取り組み                      ～大学独自の奨学金の拡充とその財源について～</p> <p style="text-align: right;">神奈川大学 永和田隆一</p> <p>1. 学納金を取り巻く諸課題とその説明責任について                      2. 奨学金の拡充とその財源の確保策について                      3. 神奈川大学の奨学金拡充への取り組みについて                      4. おわりに <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>